

2023 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじんあかね	
団体名	特定非営利活動法人あかね	
代表者名	中山遼	
連絡先	住所	岡山県岡山市北区岡町 16-9
	TEL	086-280-2167
	E-mail	info@npoakane.or.jp
	URL	https://npoakane.or.jp/
設立年（西暦）	2001 年	
助成活動名	老朽化した移転施設における安全確保のための修繕及び整備	
助成額	3,000,000 円	
活動内容	目的	<p>当法人事業の利用者は主に、不登校児童生徒や引きこもり状態の人、発達障害や精神障害等を持つ方とその保護者という、さまざまな困難を有する方々です。それら利用者に対し、居場所支援や学習支援、保護者支援等を行うことで、進路選択上の不利益や社会的孤立を防ぎ、主体的な社会的自立を促し、社会参加を果たしている状態を目指しています。</p> <p>その実現にはまず利用者の安全が確保された施設が必須ですが、2023 年 9 月に移転した施設は、安全を守りきれない危険箇所が多く残存していました。施設は老朽化した中古物件であるため、壁や床、雨漏り箇所の修繕が必要となる他、消防設備の不十分さ、3 階建てであるためベランダから落下する危険性や、玄関を出た直前が車道であることの危険性があります。また、各階の部屋が壁で仕切られており見通しが十分ではないため、見守り対策が必要になります。これらの補修を行うことで、想定される危険等より利用者の安全を確保した拠点施設を作り、長年に渡り支援を届けたいと考えています。</p>
	内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 3 階洋室天井修繕屋上の防水改修と雨漏り箇所の修繕（天井に雨漏りがあり、建物の柱や金属の腐食、及びシロアリの繁殖の招く恐れがあるため） 2. 玄関敷台工事（段差の踏み間違いや転倒防止） 3. 2 階台所～洋室間仕切り撤去工事（空間を広くし見守り可能な視野の拡大、開放感のある居場所の提供） 4. 3 階中洋室の間仕切り工事（個室スペースを作り利用者にとってプライバシーへ配慮し、安心感の持てる居場所作りのため） 5. 2 階浴室を洋室へ変更工事（不使用空間を利用可能な空間へ変え、利用者にとって過ごしやすい空間へ整える） 6. 1 階応接空間の作成工事（人目に配慮し、安心して相談可能な面談空間の確保） 7. 防災カーテンの設置（消防局からの整備指摘箇所のため対応、および火災への備えと施設の劣化防止のため） 8. 消防設備拡充、およびその検査（消防局からの整備指摘箇所のため対応、および火災等への備え） 9. 1 階流し台の変更工事（劣化・破損箇所の修繕、機能性の向上） 10. 窓鍵補助錠の購入と設置（窓からの飛び出しや落下防止、防犯対策） 11. 玄関の袖看板作成・設置（利用者や訪問客が来所の際の目印のため） 12. 看板ロゴデザインの作成（法人の認知度・識別を図り、看板などの案内表示に利用するため） 13. 家具・家電の購入（ダイニングテーブル、電子錠ロッカー、事務机や面談椅子、空調家電）

	<p>成果</p>	<p>①防災カーテンを設置することで、消防局からの指摘箇所を整備することができた。また、消防設備の拡充およびその検査を実施したことで、火災の予防および対応の強化を測ることができた。</p> <p>②補助錠の設置によって、上階からの予期せぬ落下事故や不法侵入の防止を図ることができた。</p> <p>③屋上の一部に雨漏りがあり、建物の柱や金属の腐食、及びシロアリの繁殖を招く恐れがあるため、防水改修と雨漏り箇所の修繕を行うことで拠点の寿命を伸ばすことができた。</p> <p>④高さのある玄関土間に踏み台を設置することで、段差の踏み間違いや転倒防止を図ることができた。また、小さい子どもでも上履きの着脱が容易に行えるようになった。</p> <p>⑤それぞれ独立していた2階のキッチンとリビングの間の壁を撤去し、空間が広がったことで、見守り可能な視野が拡大し、開放感のある居場所の空間ができた。利用者の過ごしやすさや居心地の向上に繋がった。</p> <p>⑥デッドスペースとなっていた2階浴室を個室へ作り替え、そして3階の中洋室を間仕切り2部屋の個室を作ることで、プライバシーへ配慮した場所が確保でき、利用者にとって安心感の持てる空間が作れた。</p> <p>⑦1階に応接間を作成することで、人目に配慮し、安心して相談可能な面談空間の確保ができた。また、劣化故障により使用不可能となっていた流し台を修繕したことで、来客へのお茶出し等の接客対応が行えるようになった。また掃除も容易に行えるようになり、衛生面の向上に繋がった。</p> <p>⑧法人ロゴを作成し玄関の袖看板作成・設置したことで、建物の目印となり、利用者や訪問客が来所する際に迷いにくくなった。</p> <p>⑨不足していた家具・家電を購入することで、以下の成果を得ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイニングテーブル…2Fキッチンに設置。伸展式のため通常はコンパクトで、必要に応じて拡張子、多用途なシーンで利用可能。居場所の機能が拡充した。 ・電子錠ロッカー…利用者や職員の貴重品保管として活用。盗難等のトラブル予防が可能となった。 ・事務机や面談椅子…不足していたため購入。面談時の機能充実。 ・空調家電…2階個室に空調家電がないため購入・設置。夏や冬の時期に過ごしやすくなるよう空調を整えることができた。 <p>以上のような補修・整備を行うことにより、利用者の安心安全の確保、利用者トラブルの減少、支援の質の向上及び利用者数のさらなる増加（50人/月〜90人/月）を図ることができた</p>
<p>今後の課題と対応策</p>	<p>今回実施した助成活動により、移転後の新拠点施設としての機能拡充がさらに充実することができました。しかしながら、築年数44年経過した物件であるため、建物内外含め、劣化が激しく修繕を必要とする箇所はまだ多く残っています。今後も安全面の向上や、さらなる施設の補修・機能の充実が不足している状態です。</p> <p>今後の課題として、上記にあげた今回実施に至らなかった修繕等の箇所について一部列挙します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2階、3階のトイレ修繕が必要（洋式ではあるもののトイレタンクの水漏れや壁紙の古さ等、機能面や衛生面を考慮して整備が必要） ・2階、3階洗面台の修繕（蛇口からの水漏れ、排水管の劣化、洗面台陶器のヒビ割れ等、劣化や故障のため修繕が必要。利用者の手洗い場の確保） ・2階和室、3階和室の畳張り替え（劣化した畳の井草が抜け落ち、軽傷等が発生しているまた、衛生面も考慮し対策が必要） ・1階事務所、2階和室、3階和室の砂壁変更（砂壁の劣化が激しく、カビや崩れがあるため、壁の張り替え等の対応が必要） ・2階キッチン水回りの修繕（蛇口が下吐式のため震災時の対策として蛇口の交換が必要。また、シンク下収納が劣化により一部破損や、シンクと壁との設置面が劣化により剥離しているため、全体的な修繕が必要になる） ・1階事務所の飾り棚や2階の仏間の撤去（デッドスペースであるため、収納場所を増設させたい） 	

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">• 1階事務所の暖房機能向上（移転後に一冬過ごしたところ、冷気遮断が難しく、暖房器具を用いても空気が温まりにくい）• インターホン設置（3階各所にいるスタッフが来客の存在に気づける状態を作る必要がある）• 施設の防音機能を拡充（近隣への騒音配慮のため、窓をペアガラスにする等の防音対策が必要）• 屋外駐輪場のスロープ設置（段差が高く、自転車の昇降が困難である） |
|--|---|

▼2階キッチン間仕切り壁の撤去（赤枠が撤去した壁部分）

【Before】



↑キッチン側からの室内写真



↑洋室側からの室内写真

【After】



↑洋室側からの室内写真

写真の提出

▼2階浴室を洋室へ改修

【Before】



【After】



▼ 3階中洋室の間仕切り（前後）

【Before】



←中洋室の室内写真



←中洋室の入り口（廊下側）写真

【After】



↑中洋室の外観写真



↑中洋室の入り口（廊下側）写真

▼玄関の敷台を作成・設置



▼玄関の袖看板作成・設置



▼ 1 階応接空間の作成

【Before】



【After】



▼ 1 階流し台の変更工事

【Before】



【After】

